

## 令和5年度2学期四万十町児童生徒指導教員連絡会 議事録（要旨）

- 1 日時 令和5年10月26日（木）15：30開始～16：30終了
- 2 場所 四万十町農村環境改善センター 2階 大会議室
- 3 出席者 町内小中高児童生徒指導担任または代理（10校出席）  
山脇光章（教育長）、野村泰子（補導センター所長）、田村ひろみ（窪川警察署）、  
伊与木裕子（専任補導員）、中脇由美（専任補導員）、田辺真司（専任補導員）、  
中村良輔（補導センター次長）
- 4 傍聴者 0名
- 5 日程
  - （1）教育長あいさつ
  - （2）各校からの報告
  - （3）窪川警察署より
  - （4）少年補導センターより
  - （5）情報の共有
  - （6）その他
  - （7）閉会あいさつ

### 6 報告・協議

- （1）各校からの報告

#### ○仁井田小学校

夏休み明けて校内支援会と学校生活アンケート、生活リズムチェックを行ったが、いじめ、不登校は全員該当なし。不登校傾向児童は安定傾向、保護者と共に取り組んでいく体制が出来ている。他1名は教員が必ず迎えに行き、身支度をさせてといった学校側からのアプローチが必要な状況で、保護者への啓発を進めている。

#### ○影野小学校

1学期、2学期とも不登校傾向等なし。Q-Uも全体的に満足分。学校全体的に安定している。

#### ○窪川小学校

SCが毎週金曜日来て気になる児童を中心に見てもらっている。また、放課後SCとの打ち合わせし、校内支援会を開いて対応している。情報の共有を行い通級の教員に一元化する体制をとっている。登校渋りがある。特に休み明けに多く、充電してくる児童もいれば放電してくる児童と2極化している。放電原因はスポーツ関係と、YouTube、ネットゲームをやりすぎている事。Q-U、満足アンケートはこれから。最近交通マナーが悪い傾向がある。陸上記録会等行事が終わると落ち着きつつも問題が起こる傾向。

#### ○川口小学校

暴力行為など緊急を要することは無い。不登校1名。子どもへの働きかけと同時に保護者とも意思疎通ができるよう取り組みを継続中。Q-U、アンケートはこれから。1学期から挨拶運動を継続しており安心安全な学校づくりに取り組んでいきたい。

#### ○北ノ川小学校

1名4月後半から不登校。3名休みがち。家族で土日以外に外出し、そのまま学校に来にくくなっている状況。毎月校内支援会を行い、働きかけ方を話し合っている。Q-U、学校生活アンケートは11月に2回目を行う。

#### ○田野々小学校

1名不登校、いじめ1件、警察にも相談している。対応として、全校でいじめ防止教室、保護者への説明、全職員で児童の様子をしっかりと見る体制をとっている。Q-U、学校生活アンケートは11月に予定。あいさつ運動は1学期から継続して行っているが弱いので、対応を検討中。保護者の都合で学校に来られない事案が2件あり対応を考えている。

#### ○十川小学校

Q-U、学校生活アンケートは10月に行いこれから分析を行っていく。不登校、不登校傾向は3名。1名は出席できる授業があるので、担任が毎日連絡している。1名は完全不登校だったが、運動会に出席後、登校出来るようになった。1名は保健室で学習している。保護者と児童の関係が良くない時期もあり、家庭訪問を行い対応している。

#### ○昭和小学校

いじめ、暴力行為、SNS問題等の事案無し。登校渋りが各学年に1名いるが、遅刻はあっても欠席は少ない。1名は週2回適応教室。保護者も子どもに対応を委ねている状況。2学期のQ-Uは結果待ち。1学期はほぼ満足分。先生が玄関で朝、児童を待つようにして、登校していない児童がいれば支援員が待つ体制をとっている。

#### ○窪川中学校

今週から教員が病休等でスタッフ不足。スマホを預けないトラブル数件。保護者へも事後指導。文化祭へ向けて、自主的、統括的な練習に励んでいる。

#### ○大正中学校

いじめ2件。1件はSNSへの動画投稿。保護者と生徒へ指導を行った。体調不良で長期欠席が1名継続している。

#### ○十川中学校

グループLINEによる陰口などのトラブル2件。保護者へも連絡し指導。不登校2名。1名は別室で授業。生活リズムチェックで試験前10時間以上ネットをして勉強をしていない児童がいる。Q-U、学校生活アンケートは11月に行う。

#### ○窪川高校

謹慎を伴う生徒指導0件。夏休みパーマ等の髪型指導4名程度。スマホ利用1件。反省文、保護者指導を行う。スカートの丈指導1件。不登校0件。見守り要支援等は、学年会で情報共有している。

(2) 窪川警察署・田村さんより

署内での子どもの事件はなし。R4に粗暴行為1件。今年、深夜徘徊で2人補導したが町外の中学生だった。警察では、要望に応じて教室を開催している。SNSのトラブルがあるようなので要望してもらえたら対応できる。高校生の喫煙が増えているようなので、早くからたばこの害などの指導が必要だと考えている。いじめ事案も学校と連携していきたい。生命等の危機がある場合はすぐに連絡してもらいたい。犯罪行為も被害届を出してもらえば対応できる。闇バイトは犯罪なので、「闇バイト」という言葉自体を使わないよう指導していくことを学校でも周知してもらいたい。四万十町は、学校で自転車の施錠率が低いので注意してほしい。

(3) 少年補導センターより

昨年度の街頭補状況、相談、情報、悪書回収について説明。今年度、補導事案はない。不審者情報1件あるが町外。

(4) 情報の共有

- ・情報モラル教室を行っている学校はないか？⇒窪川高校、川口小学校、窪川小学校が行っている。4月～6月、入学式等保護者も集まる機会に情報モラルについて説明している。
- ・ネットトラブルについて、LINE、ネットゲームは無いがYouTubeがある。保護者が就寝後にスマホを操作しているパターンが多い。
- ・欠席理由が、ただ行きたくないといった簡単な理由の欠席が多く保護者の後押しが弱い。もう少し保護者からの後押しが欲しいが、若い教員は年上の保護者へ指導しづらい状況がある。
- ・今後はスマートフォンの所持率等アンケート調査をし、把握したい。

7 その他 少年補導センターより次回連絡会の日程等を説明。

8 閉会あいさつ 四万十町少年補導センター所長 野村泰子